学校番号	３００１

令和５年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	野菜	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「野菜」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習を中心に野菜の生産、販売、流通などについて学習します。一年を通じて、多種多様な野菜を生産するため、栽培管理が主な実習作業になります。暑さ、寒さ、時には雨が、と言ったように、計画通りに進まないこともあります。思うままにならない自然を相手にたくさんのことを学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

野菜の栽培管理に関して、基本的な知識、技能を身につける。また、流通や販売に関する体験を積み重ねることにより、コミュニケーション能力などを養うとともに、野菜の普及に努める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農業の各分野について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	農業に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 課題など 販売実習の態度	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 課題など 販売実習の態度 ポスター作成	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 学期に一度、栽培技術の習得状況について確認	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 学期ごとにペーパーテストによる知識・理解の確認

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	果実を利用する野菜の栽培	栽培管理の知識と技術 販売実習	○ ○	○ ○	○	○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ノート レポート 授業観察 テスト
2学期	葉や花茎を利用する野菜の栽培	栽培管理の知識と技術 販売実習	○ ○	○ ○	○	○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ノート レポート 授業観察 テスト
3学期	根を利用する野菜の栽培	栽培管理の知識と技術 販売実習	○ ○	○ ○	○	○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ノート レポート 授業観察 テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）

の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。